

令和会 行政視察報告書

1. 視察日時 令和7年3月26日(水)

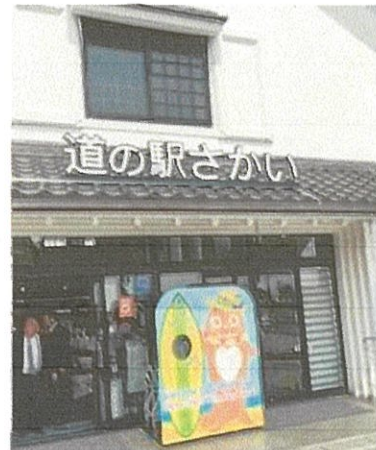
2. 視察先 茨城県猿島郡境町
(道の駅さかい～S-Lab～自動運転バス～
境町アーバンスポーツパーク～PFI住宅)

3. 視察項目及び目的

①『移住定住の取り組みについて』

本市でも、人口の減少・高齢化が進んでいる。

境町は、独自の取り組みによって人口減少を移住定住(社会増)に取り組み成果を上げている。
訪問し現場を見ることで加須市の参考とする



②『自動運転バス定期便について』

本市でも、循環バス・シャトルバス・デマンドバスを採用し交通弱者対応を行っているが、維持費用は大きな課題となっている。この状況を「自動運転バス」にて解決できるかを訪問し現場を見ることで加須市の参考とする。

③『境町アーバンスポーツパーク訪問』

本市にも、「加須スケートパーク」があり、活発に使用されている。今後の運用方法、施設の改修・増築、大会の開催等について訪問し現場を見ることで、加須市の参考とする

④『PFI住宅～25年間住み続けるだけで家と土地がもらえる取り組み』

本市でも人口減少が進んでいる。社会増を促進する一つの取り組みの現場を訪問し加須市の参考とする

3. 視察者 令和会(加須市議会 会派)

関口孝夫、新井好一、竹内正雄、原田悟、中島正和、赤坂和洋、内田昇、山本仁美、小坂裕

4. 行政視察先の概要

加須市と境町の人工等比較

	加須市	境町（加須市との比較）
面積（km ² ）	133.30	46.59（約加須市の35%）
人口（人）	110,665	23,871（加須市の21.6%）
密度（人/km ² ）	830	512（加須市の61.7%）
市の花	コスモス	カンナ
市の木	サクラ	モクセイ

*人口は、2025. 2. 1 現在

訪問先の概要 茨城県境町について

歴 史

江戸時代は関宿藩に属し、利根川対岸の城下町と一体と看做され、河川舟運を活かして発展した。慶長年間に河岸が設置され、安永3年（1774年）には河岸問屋2軒が公認された。その翌年の統計によれば、奥州から江戸に向かう荷物が年間3万駄、その反対の荷物が7千駄であり、高瀬舟や舢舨などが計129隻あったと記録されている。廃藩置県後は猿島郡役所及び西葛飾郡役所が置かれた。

現在の境町は昭和の大合併で、旧境町、長田村、静村、森戸村、猿島村との合併により誕生した。平成になって、現在は坂東市となった岩井市及び猿島郡猿島町との合併が検討されたが、住民投票の反対多数により単独町制継続となった。

地 理

利根川が町の南端を東西に流れる。東京都心から比較的近い距離約50～60（km）圏内にあり、関東大都市圏に属する。旧境町を中心に公共施設、商店街、大型店、住宅地が集中する一方、郊外はのどかな田園風景となっている。町内には猿島台地があり、台地上では地の利を生かしてさしま茶が生産されている。

境町(に相当する地域)の人口の推移

1970年(昭和45年) 21,773人

1975年(昭和50年) 24,347人

1980年(昭和55年) 25,696人

1985年(昭和60年) 26,297人

1990年(平成2年) 26,922人

1995年(平成7年) 27,237人

2000年(平成12年) 27,171人

2025. 2.1 人口 23,871 人

自然減を考慮すると、相当多くの社会増があると考えられる。

2005 年(平成 17 年) 26,468 人

2010 年(平成 22 年) 25,714 人

2015 年(平成 27 年) 24,517 人

2020 年(令和 2 年) 24,201 人

総務省統計局 国勢調査より

商業・観光

建築家 隈研吾設計の施設を、2018 年開館の 6 次産業化施設「さかいサンド」を皮切りに、「さかい河岸レストラン茶蔵」、特産品開発に取り組む「S-Lab」、美術館「S-Gallery」、「モンテネグロ会館」、2021 年開業の干し芋カフェ「S-ブランド」（建設前の仮称は「まちかどカフェ」）と全国市町村で最多の 6 ヲ所を立て続けに整備している。隈研吾作品を目当てに町外から訪れる見学者を含めて、中心街や町経済の活性化につなげる狙いがある。

鉄 道

町内を鉄道は通っていない。鉄道を利用する場合、最寄り駅は東武日光線南栗橋駅だが、公共交通機関が利用可能な最寄り駅としては、東武伊勢崎線東武動物公園駅、東武野田線川間駅、JR 宇都宮線古河駅がある。

自動運転バス

2020 年 11 月 26 日、日本国内初の自動運転バスの定常運行を開始。誰でも事前予約なし、無料で乗車できる。町がフランス製「ナビヤ・アルマ」3 台を導入し、BOLDLY が運行を管理する。町内を循環する「道の駅さかい-猿島コミュニティセンター」と、高速バスの停留所につながる「道の駅さかい-高速バスターミナル」の 2 ルートで運行している。今後は増車し、町中心部に加え、郊外にもルートを拡大する計画がある。

路線バス

市内では朝日自動車と昭和観光自動車の路線バスが運行している。

なお、朝日自動車のバス事業の事実上の前身である東武バスのバス事業の盛時には、境町ターミナルは一大拠点であり、野田市駅、幸手駅、間々田駅、下館駅、結城駅、栗橋駅、新古河駅、下妻駅、岩井、さらには東京駅や浅草などへ向かうバス路線も存在していた。現在でも、東武動物公園駅・古河駅・川間駅方面の路線網が残る。

5. 行政視察内容

⑤-1 Lab 1st. にて視察研修内容の説明あり

茨城県境町議会議長 倉持氏から、行政視察に対する歓迎の言葉及び境町の現状の取り組み概要について説明あり。

株式会社さかいまちづくり公社 営業企画部さかいまちツアーズ 新井課長から

「境町の移住定住・スポーツの取り組み」、「自動運転バス」、「境町アーバンスポーツパーク」、「PFI 住宅」について、順次説明あり。



＊株式会社さかいまちづくり公社とは、

- ・地域商社 地域の資源をブランド化し、生産から加工まで一貫した企画を行い、地域内外に販売してゆく組織 株式は、50%：50%＝境町：株式会社さかいまちづくり公社

境町のポリシーは、「スピード感とアカウンタビリティ」であり、すべての事業について議会に説明し共有し、「町も議会も町民も」で進める」であると説明あり

さらに、課題を解決するために先進事例を「市長と議員全員が視察に訪れ、その場で結論を出す」という方策で進めていることが、境町の今の発展した基礎となっている。

各事業の説明の概要は以下の通り。

「境町の移住定住・スポーツの取組」の詳細として以下の項目にわたって説明あり

基本は、「0～14歳のこども、子育て世代を境町に呼び込む」を実現する施策を実行すること

①「充実の子育て支援」について

「20歳までの医療費無料」「第2子以降保育料無料」

「保育施設・小中学校給食費無料」の取り組みについて説明あり。

②「教育 安心できる学習環境」について

「全小中学校 100%エアコン完備（教室や体育館）」「水泳の授業は屋内温水プール」「ウォシュレット付きトイレ設置を推進」「学校から2km以上はスクールバス対応」「児童クラブの定員倍増 学習指導員が宿題や自主学習をサポート 夏休みに昼食を提供」の説明あり。

- ③「英語移住」すべての子どもが英語の話せる町へ について
「小中学校に複数の ALT が常駐」「ホノルルへのホームステイ」
「英検受験料が無料 通っている小中学校で受験できる」
「小学 6 年生の英検 5 級保有率 75.5%」の説明あり

- ④「スポーツ移住」について
「プロが教える、放課後スポーツ教室」
（サッカー、BMX、インラインスケート、ホッケー）
インラインスケート 日本チャンピオンの移住ありとの説明あり

「PFI 住宅」について

スローガンは、「25 年間住み続けるだけで、家と土地がもらえる」

家賃 64,000 円 敷地 「3LDK 30 坪 2 台駐車可能」

「住宅ローン、固定資産税、火災保険」 全て不要

最初の取り組みは、「空き家の活用」から戸建て住宅から始め、アパート方式に発展したとの説明があり。更に近隣に多様な施設を作ることが「PFI 住宅」の促進につながったと説明あり。

例として、屋内型キッズランド、人口サーフィン施設、町が建設して開設した小児科専門クリニック、境町ニコニコパーク（全天候型公園）

各事業の説明に対する主な質疑

質問	説明及び回答
いろいろな事業を進めるうえで、予算はどうやって捻出しているのか	ふるさと納税の活用は、もとより、国の補助金を獲得するために「専門の職員」を配置して経験と知識を生かして、「補助金を如何に活用するか、町民の為になぜ必要かなど物語」を作成して、国と交渉しています。
職員の採用は、どのように行っていますか	中途採用が主。専門プレーヤーを求めて採用しています。
PFI 住宅は、町民外が優先されているが、町民からの不満はないのか	市長、議会が同じ思いで「町民」と話をすることで、納得をいただいています。
PFI 住宅について「中途解約」などの事例は発生していないのか	1 例のみ、海外勤務となって、中途解約となった事例があります。 しかし、すぐに入居する方がおられました。
PFI 住宅の発案は、どこから出てきたのか	空き家対策から始まりました。よって戸建て住宅 6 棟から始まりアパート形式に発展しました。

PFI 住宅に「こどもが欲しくてもできない家庭」に対する配慮も必要なのではないか	今後の課題といたします。
地方創生臨時交付金が交付されましたが、境町では、どのように支出されましたか	町民の 15 歳以下、65 歳以上に、3,000 円の「さかえるペイ」として支給しました。
境町にいろいろな取組、施設が出来上がって、町民の方からの反応はありましたか	「町職員は、頑張っているね」という声が聞こえています。 また、こども達に「境町の絵を描いて」は、以前は「猿島茶」のみでしたが、「絵の種類」が増え、さらに、友達を「境町に呼びやすくなった」と言っています。
様々な施設が短期間で計画され実行されていますが、都市計画との整合性はとれていますか	圏央道ができて、良い方向に。計画通りには行かなくなってきています。 その都度、変更を行っています。
利根川に隣接していることから、氾濫等の災害が発生すると予測される場合の避難方法について教えてください	「境町に残るな」が基本です。
「茨城県境町利根川大花火大会」が実施されています。町民の評価は如何ですか	費用は、約 2 億円です。座敷、テーブルを 6 万円の有料席とすることで、黒字です。 多くの観客が来られることで、駐車場等のトラブルがありました。「軒先パーキング」という事業展開をして町民の方が自分の敷地を駐車場とすることで、ウインウインの関係をにつくって、解決しました。

所 感

◎ 関口議員

加須市では、予算を捻出することができずに事業が実行できないことが多い。境町では、コンパクトなまちづくりが進み、インフラに必要とされる費用を補助金・ふるさと納税・PFI を活用して、町に負担がかからない工夫をして進めている。

補助金の活用方法、申請方法等、参考として、加須市との違いを明らかにして、詳細に検討して、加須市にも応用したい。

⑤ - 2 現地視察

Lab 1st. から自動運転バス定期便（干し芋カフェ～エスココース）と（エスコ～ニコニコパークコース）に分かれて、自動運転バスに乗車する。

同乗者が配置されていて、乗降のお手伝いや障害物の回避をサポートしていた。車速は 20 km 程度。ブレーキの作動によって、ややガクガクとした乗り心地。



自動運転バスについての主な質疑

質問	説明及び回答
維持運営費用は年どのぐらいか	5. 2 億円/5 年間で算出しています。 運賃については、「運賃収入があっても黒字にはならない」ことから「無料」としています。 ふるさと納税を活用しています。

所 感

◎ 赤坂議員

交通弱者に対するバス事業は、「必要なところに必要な人の為に運行できる」ことが理想であるが、自動運転バスがそのすべてを解決してくれるとは思わないが、運転手不足問題を解決できる方法であることから加須市においても研究すべき課題と考えます。

⑤-3 境町アーバンスポーツパーク視察

町長の鶴の一声で「東京 2020 オリンピックで使用されたパーク」を境町に移設される。

移設された施設の概要 世界大会も開催可能なスペックを持った競技施設。

フランス・HURRICANE 社が設計と建築を行った日本初の常設パークです。日本初、360 度どの方向からでも進入できるジャンプ台を始め、多数のセクションを設置。アメリカ・リッチライト社の Skatelite 製サーフェースを使用しており、滑りがよく速乾性のため、雨天後でもすぐに競技が可能な施設



面積：縦 55m×横 35m 延べ 1,888 m²、ランプの高さ：最高 3,500mm

照明：MUSCO 社スポーツライティング

視察時、練習をしている選手あり。親御さんは、子どもに、この競技の練習をさせる為に境町に移住されたとのこと。

所 感

◎ 内田議員

加須市の「スケートパーク」も設置開放以来、市内外のチームが利用してにぎわっています。今後は、修繕・改修を見据えていかなければなりません。

今回の視察から、世界基準がいかに大切であるかを知らされましたが、一方、加須市の「スケートパーク」は、特徴があり、競技者からは、注目されているとの情報をいただきました。特徴を活用して利用者の拡大、大会等の開催を視野に取り組んでいきたいと思います。



⑤-4 PFI 住宅

「25 年間住み続けるだけで、家と土地がもらえる」取り組みについて



◎所感 中島議員

大変面白い企画でした。現地を確認すると活気にあふれていました。メリットの大きい事業と考えられるため、加須市北口の空き地利用などで同じような事業ができないか、至急検討してみたいと考えます。

◎所感 山本議員

北川辺地区の人口減少を食い止めることのできる一つの事業と考えます。

もっと別の先進地を視察し、加須市らしい事業展開を考えたいと思います。